よみがえれ，足尾の緑！

時　期	春～秋
時　間	５時間（体験植樹を含む）
場　所	日光市足尾町

○足尾で行われている体験植樹に参加する。
○体験植樹などの活動を通して，自分が住む「まち」の環境について考える。

ねらい

・体験植樹などの活動を通して，環境保全に努める姿勢と社会に参画する態度を育成する。
・自分が住む「まち」の環境について振り返らせることで，生涯にわたって環境について考え，行動する態度を育成する。

教科に見る活用場面

・中学校　社会（地理的分野）「地域における環境保全」
　　社会（公民的分野）「公害の防止と環境の保全」
　　理科（第３学年）　「自然と人間」
・高等学校　公民（現代社会）　「社会への参画と課題探求活動」

活動の内容

(1) ワークシート①を用いて，植樹についての資料を読み，足尾で行われている植樹活動について調べ，体験植樹に向けた準備をする。（１時間）
(2) 足尾へ行って体験植樹をし，そこで学んだことをワークシート②に記録する。また，鉱害や緑化事業の歴史，自然の大切さと環境問題について学習できる施設として，足尾環境学習センターがある。ここで学んだことも記録する。（２時間）
(3) ワークシート③を用いて，(2) の感想をまとめ，発表する。また，自分が住む「まち」の環境について振り返る。（２時間）

準備するもの
・作業に適した服装
・雨具など　・軍手　・タオル
・飲料水　・昼食
・指定された道具（植樹する場合）

第17回「春の植樹デー」(2012.4.21～22)
「足尾に緑を育てる会」Webページより

活用ガイド

○指導上の工夫・留意点

・事前指導のプログラムとして，「足尾のまちから環境を考える」（p.12）を行うと，より効果的である。
・ワークシート③は，体験学習を通して，自分が住む「まち」の環境について考えさせることがねらいである。自分の身のまわりの環境を見つめ直し，「問題点や取り組むべき課題は何か？」「環境保全のために自分ができることは何か？」などについて考えさせたい。
・体験学習に関する情報は，以下のとおりである。最新の情報については，随時確認すること。体験植樹については，安全指導上の観点から，事前の下見が必要である。

○体験学習について

「足尾に緑を育てる会」Webページより

体験植樹は「**国土交通省受付**」と「**足尾に緑を育てる会受付**」の二通りの方法がある。どちらも現地の植樹指導は当会で行う。植樹地は，国土交通省，栃木県などが公共事業として山腹基礎工事を施工した場所である。植樹場所の確保の関係上，「国土交通省受付」をお願いしている。大きめの苗木を数十人につき1本植える形になるが，参加者の費用負担はない。また，紙芝居による説明や，支柱を立てたり鹿よけネットを張ったりする作業もできる。どうしても１人１本の植樹をしたい場合，また高校生以上の団体，成人団体については，費用の負担はあるが当会で直接受付している。

「国土交通省受付」の場合

国土交通省渡良瀬川河川事務所で行っている。環境学習支援の一環として行われており，この体験を通して環境の大切さや砂防事業の重要性について理解を深めてもらうことを目的としている。くわしくは**「足尾体験植樹ガイド」**パンフレットを参照する。**（http://www.ashiomidori.com/よりダウンロード）**

【申し込み方法】まずは，次の連絡先に電話する。
国土交通省渡良瀬川河川事務所　足尾砂防出張所　TEL:0288-93-2151

「足尾に緑を育てる会受付」の場合

「見て，学んで，体験できる足尾ならではの環境学習」を進めている。銅山により荒廃してしまった山を見つめ，足尾環境学習センターで公害や緑化事業の歴史を学び，自らの手で実際に木を植えることで，環境問題をより深く理解することができる。

【申し込み方法】申込書**（http://www.ashiomidori.com/よりダウンロード）**に記入し，FAXまたはE-mailにて申し込む。

NPO法人「足尾に緑を育てる会」〒321-1523　日光市足尾町松原2-10
TEL 0288-93-2180　FAX 0288-93-2187　E-mail：syokuju@ashiomidori.com

【足尾環境学習センター】

自然の大切さと環境問題が学べる施設として，2000年に開設された。パネル展示，映像コーナー，研修室などが整備されている。指定管理者制度の導入により，2007年以降，市から「足尾に緑を育てる会」へ管理運営が業務委託されている。

連絡先：TEL・FAX　0288-93-2525
所在地：日光市足尾町銅親水公園内（大畑沢植樹地から徒歩10分）
開館4月1日から11月30日まで（9：30～16：30）
入館料大人200（180）円　高校生以下100（90）円　（　）は15名以上の団体

プログラムの作成において参考とした文献やＷｅｂサイト
○「足尾に緑を育てる会Webページ」　足尾に緑を育てる会　http://www.ashiomidori.com/

ワークシート

①よみがえれ，足尾の緑！

実施日	年　月　日（　）	年　組　番	氏名	

「足尾に緑を育てる会」Webページより

NPO法人「足尾に緑を育てる会」主催の「第17回春の植樹デー」が，2012年4月21日（土）・22日（日）に，日光市足尾町松木地区の山の斜面で行われた。児童生徒や，企業などの各種団体が参加し，1300人で5000本の苗木を植樹地まで運び上げ，スコップで穴を掘り，一本一本を手で植えた。（21日：800人で3000本・22日：500人で2000本）これまでに延べ14000人以上が参加，61000本を超える苗木が松木地区に植樹されている。

渡良瀬川の源流に位置する松木地区は，足尾銅山の煙害により荒廃し，国や県などの関係機関による復旧事業が約100年前から続けられている。「足尾に緑を育てる会」は，「足尾の山に100万本の木を植えよう」を合言葉に1996年から活動を開始し，2011年，日本ユネスコ協会連盟から「未来遺産運動」（100年後の子どもたちに，長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を伝えるための運動）に登録された。

「足尾に緑を育てる会」の先頭に立って活動してきた宇都宮市出身の小説家，立松和平（1947-2010）さんは，次のようなメッセージを残した。「私たちは，木を植え続けていきます。百年以上かかって傷めつけられてきた足尾の山に緑を取り戻すには，焦らずゆっくりしつこく一本一本植林していくよりほかにありません。役所が予算を使って植えた千本より，千人が一本ずつ植えた苗木のほうが貴いと，私たちは知っています。なぜならば，私たちは山に木を植えると同時に，私たちの心の中にそれと同じ数だけの木を植えているからです。」

「足尾に緑を育てる会」Webページより

1　資料を読んでまとめよう。

（1）いつ，どこで？
（2）どのような人が参加・協力した？
（3）どのような活動？

2　体験活動に向け，まとめよう。

（1）活動に向けた心構え
（2）準備物や質問事項など

ワークシート

とちぎ

②よみがえれ，足尾の緑！

実施日	年　月　日（　）	年　組　番	氏名	

1　体験植樹を通して学んだことをまとめよう。

2　足尾環境学習センターで学んだことをまとめよう。

とちぎ

ワークシート

③よみがえれ，足尾の緑！

実 施 日	年　月　日（　）	年　組　番	氏 名	

1　体験学習全体を通しての感想を書こう。

2　自分が住む「まち」の環境を見つめ直し，「問題点や取り組むべき課題は何か？」「環境保全のために自分ができることは何か？」などについて考えよう。